

7/22 2804

貿易赤字最大7.9兆円

22年上半期 資源高、円安響く

財務省が21日発表した2022年上半期(1~6月)の貿易統計(速報、通関ペース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は7兆9241億円の赤字だった。暦年半期の赤字としては比較可能な1979年以降で最大。ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高

と円安進行で輸入が膨らんだ。一方、6月は06年7月以来、約16年ぶりにロシアからの原油の輸入がゼロになった。
【7面に関連記事】
上半期の輸入は前年同期比37・9%増の53兆8619億円と、初めて50兆円を突破した。輸出も原材料や物流費の上昇を背景に15・2%増えて45兆9378億円となり、過去最大を更新した。

貿易赤字が膨らんだ理由は資源価格の高騰だ。原油の輸入額はサウジアラビアを中心約2倍に増加。オーストラリアなどからの石炭は3倍以上になった。

原油の輸入額を数量で割った円建ての単価は過去最高水準の1キログラム当たり7万5501円。前年同期より3万4237円高くなった。これまで半期で最大の赤字は14年上半期の7兆6282億円だった。